



魅力発信交流館の現状と今後は

施設の利用者数は、令和4年度で1万3558人と、平成30年度の開館以来、最多となりました。本年度は、2月末現在で2万620人と、既に昨年度を上回る方にご利用いただいています。また、施設に関する経費は、令和4年度の決算額で、歳出は施設管理委託料のほか、光熱費などを含め、総額約940万円で、歳入は施設使用料の約12万円でした。

【問】多古町魅力発信交流館にかかる予算を削減すべきでは
【答】公共施設として今後も一定の支出は必要です

【問】施設の運営を旧第一小学校や旧常磐小学校のように、財産を貸し出すという考え方はできないのか。財産収入を得て、歳出をストップすれば、即座に最低限でも約940万円の予算を確保することができるので、町での管理運営を辞め、財産を貸し出す形にしたらどうか。

【問】施設の運営を旧第一小学校や旧常磐小学校のように、財産を貸し出すという考え方はできないのか。財産収入を得て、歳出をストップすれば、即座に最低限でも約940万円の予算を確保することができるので、町での管理運営を辞め、財産を貸し出す形にしたらどうか。

【問】町からの受託事業をはじめ、複数種類ある同機構の収入構

【問】町からの受託事業をはじめ、複数種類ある同機構の収入構

【問】町からの受託事業をはじめ、複数種類ある同機構の収入構



菅澤 博隆 議員

教育・福祉などきめ細やかな予算

一般会計は総額7億3700万円余りの予算となりました。この予算は、平山町政の教育、福祉など町民の生活向上のためのきめ細やかな姿勢の現れであると評価いたします。現在、町の課題としては空港機能強化に伴う町の施設強化、圏央道のインターチェンジ設置に伴う町への集客対策、移住・定住支援、道路整備、排水対策などの生活インフラ整備、建設残土対策など多くあります。適切な予算配分が求められます。さらに、具体的には帯状疱疹ワクチン助成、補聴器購入費助成が組まれています。また、小・中学校体育館および多古町民体育館へのエアコン設置が予定されるほか、多古第一小学校の特別支援学級や児童保育所の教室増設が組まれています。積極予算であると評価します。子育て支援、病児保育支援については引き続き継続を求めます。さらに、条例改正を含めた建設残土埋め立て対策強化を求めます。以上、平山町政の積極的な施策を評価し、さらなる対策も要望しながら賛成討論といたします。



高坂 恭子 議員

安心につながる予算

本予算審査特別委員会において、活発な質疑に対し、執行部からの予算づけの経緯に至る細かな説明に納得できるものでした。一般会計は前年度に比べ2億342万8千円減の7億3764万5千円(2.9%)減となりますが、安心して暮らせるまちづくり施策として新たにがん治療に伴うウィッグ購入者の助成、妊産婦の通院における負担軽減を図るためタクシー料金の助成、高齢者支援として新たに補聴器購入費用の助成など、高く評価できます。教育環境整備事業として、小・中学校体育館、多古町民体育館へのエアコン設置は指定避難所の機能も合せ高く評価できるものです。児童保育の施設が計画され、委託先の事業が確定し計画通りに進むことを希望します。県東部地域と成田空港とのアクセス強化を目的とした町道南玉造線の開通が令和6年度に見込まれるとのこと、担当課の労苦に感謝申し上げます。多古町地域経済活性化拠点整備検討会が結成され実を結ぶことを期待し、賛成討論といたします。

3月定例会日程表

本定例会では、会期中に多古第一小学校および児童保育所増築に関する全員協議会や100条調査特別委員会を開きました。QRコードを読み取っていただくと内容をご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

Table with columns for date, day, session, and agenda items. Includes dates from March 5th to 22nd, sessions like 'Council Meeting' and 'Special Committee', and agenda items such as 'Graduation Ceremony' and 'Budget Review'.

インターネットで録画中継も行っています

多古町ホームページ

多古町議会

議会中継

録画中継

多古町 検索

3月定例会の傍聴者数は延べ27名でした。

宇井 伸征 議員

所要時間 99分



【問】成比はどのようになっているのか。また、今後どのように観光交流プログラムなどの民間事業を伸ばして、自立性を高めていくのか。

【問】まちづくり機構には、総額で4500万円近い予算が投入されている以上、事業内容と、今後の事業展開など、議会で報告や説明をしていくべきではないか。

子育て支援住宅について

【問】入居予定者の町内・町外比率はどのようになっているのか。

【問】申し込みの状況では約半数ずつと聞いています。

【問】そもそも町外からの移住促進という事業の根幹から逸脱していると思うが、どのように考えているか。

【問】様々な意見を全員の協議会などで

【問】町内での分家希望や、同じく町内で実家を離れて新居を構えたい方も対象にすることで、人口流出や税収減を防ぐという方針も内包できるようなりました。町内での異動ですから、税収増には跳ね返ってきませんが、将来的な人口流出を防ぐということには一定の効果があると考えています。

その他の質問事項

●タイ王国へのトップセールスの経緯と効果、空の仕事に強い町づくりについて